



## IDF PRESS RELEASE

IDFプレスリリース

2019年5月30日、パリ発

### 全世界の酪農乳業専門家たちが「世界牛乳の日 2019」を祝う Global Dairy Experts Celebrate World Milk Day 2019

IDF（国際酪農連盟）は、フランス・パリでの世界的専門家の会議において、世界牛乳の日（ワールド・ミルク・デー）の祝福を早めに開始します。

6月1日に、世界中の牛乳愛好者が2019年の「世界牛乳の日」にちなんで酪農乳業を祝います。「世界牛乳の日」は、2001年に、[国連食糧農業機関（FAO）](#)によって、世界中の乳製品のおよび経済的重要性を祝福し、その認識を高めるために、最初に立ち上げられました。

キャロライン・エモンド IDF 事務総長は次のように述べています:「わたしたちは、わたしたちが生きることへの乳の利点を共有するために、6月1日に乳を祝福して飲みましょと、皆様に呼び掛けています。1903年以来、酪農乳業の世界的な声として、IDFは世界的な食品としての牛乳の重要性を認識し、それが自然に由来すること、乳の栄養的価値などの天然の乳のあらゆる側面や、様々な乳製品について、世界でのその経済的重要性を含めて、一般の方々の認識を高めるために、「世界牛乳の日」を祝福しています。

乳は、世界中で最も生産され価値のある農産物の一つです。大部分の人々は、乳および乳製品が必須栄養素を提供し、高品質のタンパク質、脂肪、カルシウム、その他多くのビタミンやミネラルの重要な供給源であることを、すでにご存じです。家畜は、[数多くの農家](#)の生計と栄養安全保障に貢献しています（地域および周辺部の7億2,900万人のうち、4億3,000万人が畜産農家です）。酪農動物はまた、家族の経済的資本を増やし、貯蓄のためのメカニズムを提供し、流動資産として、あるい

は生計目標を確保するための信用担保として機能します。

酪農は、女性の地位向上にも重要な役割を果たします。世界の 1 億 3,300 万の農場のうち、[3,700 万の農場で女性がリーダーシップを発揮](#)しています。開発途上国では、酪農は女性の教育達成度を高め、男女の不平等を減らす可能性があります。

年次の [IDF ワールドデューリーサミット 2019](#) のプログラムやその他の事項について話し合う 5 月 30 日の会議の際に、IDF は、その国際的専門家コミュニティと安全で持続可能な酪農乳業への貢献を祝う「酪農乳業の顔」キャンペーンによって、「世界牛乳の日」への前振りで、酪農乳業のすべてを祝福します。

昨年は 80 カ国が「世界牛乳の日」に参加し、6 月 1 日は、この日またはその前後に国内の牛乳の日を祝福された多くの国々と合わせるために選ばれました。5 月 29 日に開始されましたので、皆様には[#EnjoyDairy](#) で本キャンペーンをオンラインでフォローしていただくことができます。

「世界牛乳の日」は、持続可能性、経済開発、生計、そして栄養への酪農乳業セクターの重要な貢献を祝うことを目的としています。「世界牛乳の日」の祝福や‘Enjoy Dairy’ラリーについては、[www.worldmilkday.org](http://www.worldmilkday.org) からご覧ください。

完

翻訳：J I D F 事務局

編者注：仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。